

## 飯豊連峰縦断(杵差岳～三国岳、飯豊川横断含む)山スキー

石井

【日時】 2010年5月1日～4日

【メンバー】 石井(L)、木下、中村

【ルート】 長者原～西俣ノ峰～頼母木小屋⇄杵差岳(千代吉沢・北ノ大沢滑降)～地神山～門内岳～北股岳～洗濯沢滑降～飯豊川横断・赤谷沢右岸尾根～大日岳～御西小屋～飯豊本山小屋～御秘所沢滑降～種蒔山～三国岳～大白布沢滑降(地藏岳の肩へ登り返し) 小白布沢滑降～川入

GWにスキー滑降目的で飯豊へ通い出して早7年、今回で4回目を数える。素晴らしいロケーションと大満足の滑降に惚れ込み、まだまだ未滑降の斜面も多いながらも、そろそろ集大成で「縦断」をやろうか、と同好の木下さんと目論んでいた。そこへ北アの縦断スキーを指向する中村君を誘い込み、飯豊は初めてながらもその魅力にどっぷりと浸ってもらった。



奥川入荘前からシールで

### 5月1日 曇一時あられ

前夜は豊栄SAで仮眠、豊栄駅に車を置いて米坂線で小国、さらに町営バスで梅花皮荘までアプローチする。奥川入荘の鯉のぼりに見送られてシールで出発するが、



尾根の最初はスキーを担ぐ

痩せた尾根に取り付くと雪が無く、暫くはスキーを担いで我慢の登りとなる。しっかりした踏跡が続き、標識やロープもあるので歩きやすいのが救いだ。歩きのパーティーを追い抜き、標高700mを越えると尾根が広くなり、雪がグッと増える。ここからシール登山に切り替え、ブナ林の幅広い尾根と雪堤を辿っていく。西俣ノ峰まで来ると急登は一段落、アップダウンが混じるようになり、主稜線もだいぶ近づいた。1184ピーク付近は雪が切れ、笹の中の踏跡を辿る。



西俣ノ峰より主稜線



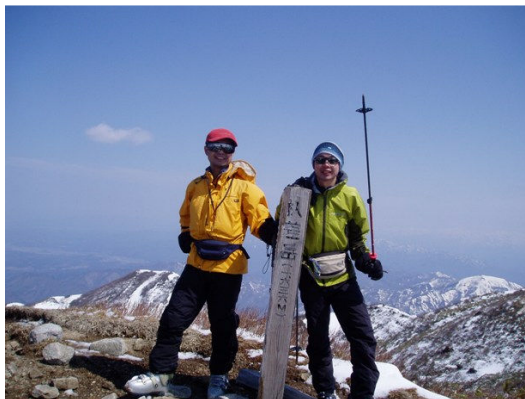
千代吉沢の滑降

その先から主稜線への本格的な登りとなるが、曇天模様から次第に風が強くなり、1500m付近からは強風に加えて霰まで降ってきたので、岩陰でしばらく休んだ。頼母木山をカットして小屋を直接目指すべく、1550m位から右手の笹藪の斜面を登り気味にトラバース、千代吉沢源頭を横切ってピタリと頼母木小屋の前に出た。300mから標高差1300m、初日のミッションを6時間かけてどうにかこなした。ご褒美は貸切の快適な小屋生活、ゆっくり休むことができたが、夜は強風が小屋を揺らしていた。

#### 5月2日 晴（風強し）

強風は陽が昇るにつれていくらか治まり、最低限の装備で杵差岳往復に出かける。昨日の横断地点まで戻り、杵差岳を眼前にまだ堅めの千代吉沢源頭にスキーを走らせるが、傾斜が緩いので全く問題ない。屈曲点で左手の北ノ大沢に入り、シールで登り返すが、斜度はやや急なのでジグを切ってピークを目指す。斜度が緩むとやがて小屋が見え、スキーはデポして連峰北端のピークである杵差岳に登る。

小屋で休憩後、北ノ大沢を滑降する。スケールといい、斜度といい、ロケーションの良さは連峰でも屈指のものであろう。連峰のパノラマを前にして、文句無しに楽しい1本、中村君のホーホーの音が斜面に響き、木下さんがノリノリのターンでこれに続く。下部は少々雪が重かったが、出合から千代吉沢を順調に登り返し、頼



杵差岳ピークにて



主稜線を眼前に北ノ大沢の滑降



洗濯沢の滑降



洗濯沢中間部で雪割れをクライムダウン  
母木小屋に戻る。

荷物をまとめ、源頭から頼母木山に登って、全装備で稜線を南下していく。地神山、門内岳、北股岳と続く稜線ではほとんど雪が繋がっており、アップダウンも少ないのでスキーが有効

に使える、「東北のオートリート」と呼ぶにふさわしい。

文覚沢などの源頭滑降も選択肢ではあったものの、時間も体力も不足していたので先を急ぐ。先客が多いながらも門内小屋には後ろ髪を引かれたが、ここは頑張っ

### 5月3日 快晴（朝は強風）

小屋周辺は風の通り道なのか、吹き飛ばされそうな強風だったが、水場の先でスキーを付けて洗濯沢へひと滑りすると嘘のように穏やかになる。暫くは硬めの雪面だったが、斜度はきつくないので危険はさほど感じない。高度を落とすとクラストも緩んで広大な斜面の快適スキーとなるが、眼前の大日岳はどんどん高くなっていく。谷が狭まると、烏帽子沢出合の上で雪が割れ、水流が顔を出していた。ここはスキーを外し、慎重にステップを切ってやり過ごす。快適そうな烏帽子沢を左、清



飯豊川洗濯沢出合に憩う



赤谷沢右岸尾根のブナ森



**連峰をバックに赤谷沢右岸尾根を登る**

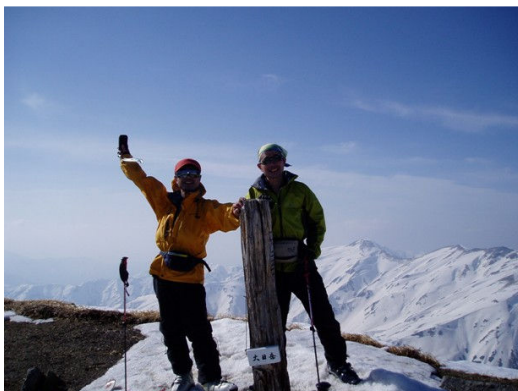


**西大日岳直下のトラバース**

十郎沢を右から合わせると斜度は緩み、デブリが目立つようになる。

やがて飯豊川出合に着く。3年前の夏に泊まった思い出の場所は、峻険な飯豊川の中にあってはオアシスだが、水流が思っていたよりは出ていた。赤谷沢から右岸尾根への登高を目論んでいたが、出合までの間は雪が切れて悪く、行く気になれない。暫くの間逡巡したが、烏帽子沢から稜線へのエスケープを主張する木下さんに対し、何とか前進したい二人で上流側の沢の上トラバースを提案。半ば無理やりの説得で急な雪面にステップをつけて横断する。

標高差で200m、尾根に出るまではかなりの急斜面、最初はシールで取り付いたが、結局スキーを担いで登る。赤谷沢右岸尾根に出ると、一転して穏やかなブナ林が広がり、まさに別天地であった。人心地ついた後は赤沢の大滝や本流の大ゴルジュ帯を眼下に、ひたすら尾根を行く。雪付きの悪い岩のピークは右手の窪に下りて巻き、1400mを越すと斜度も緩んで快適な登高となる。好天の元、白一色の雄大な地蔵カル沢上部の眺めはまさに垂涎もの。前半で手間取り、時間が押しつつあるのも気になっていたが、中村君の絶妙のルート取りとペース配分に救われ、どうにかバークも免れそうだ。



**ようやく大日岳**



**大日岳をバックに御西小屋へ**



御秘所沢の滑降



七森の稜線を下る

16時近くになってどうにか大日岳に到着、標高差1300mを全装備担いで登りきった。上部が急なのと、疲れもあるのでスキーは担いで下降、あとは予想外に多くのスキーとツボ足のトレースに導かれ、御西小屋へ緩いスロープを辿った。着いた小屋内は銀座山の会のスキーパーティーをはじめ、これまた予想外の大人数、暖かいのを通り越して暑いぐらいの熱気だった。

#### 5月4日 ガス（強風）～曇～晴

強風とガスで視界は20m位しなかったが、トレースもあり、勝手にわかる場所なので出発する。駒形山から本山ピークの直下をトラバースして本山小屋に向かうが、稜線の風にふらつきながらの歩きが厳しかった。本山小屋の中でルートを相談、予定の実川源頭はまたしてもお預けとなるが、過去にトレースしている御秘所沢に下りれば安全と考え、決定。一王子から視界の無い中スキーをセットしてチビチビと滑降し、1850m位まで高度を落とすと案の定視界が一気に開けた。

あとは勝手しつたる御秘所沢の広い振り子状スロープを快適に御沢出合まで滑る。種蒔山までの登り返しは少々長かったが、最後と思って頑張る。三国岳への稜線上は崩れかけた雪堤の上を行くが、2003年のズタズタの状態に比べればはるかにマシで、概ねスキーで行くことが出来た。三国岳からは疣岩山方面へ少し下り、雪庇とシュルンドを縫って大白布沢へ滑り込む。例年ならデブリで荒れていそうな斜面も今年は綺麗なまま、予想外に豪快、快適な斜面を歓声上げて滑り込む。1250m付近から地藏山の肩へ向けて150mほどの登り返しとなるが、登り着



大白布沢上部の滑降



地蔵岳肩のブナ森で一服



小白布沢で最後の滑降

いた辺りは快適なブナ森で一服には良いロケーションだった。

ここからさらに北面の小白布沢へと滑り込む。最後の滑降も思いがけなく快適で、本当に今年は雪の多さに恵まれていることを実感。さすがに800m辺りまで下りると急に沢が現れ、止む無く徒渉となって左岸の台地へと上がる。林道に出ても予想以上にスキーが使い、工事中の大規模林道を下り、標高600mまでスキーで下ることができた。山菜を物色しながらスキーを担いで林道を歩けば、里の春が徐々に近づいているのを実感、スキー終了から1時間足らずで川入の集落へと到着し、長躯の連峰縦断スキーを終えた。

民宿でタクシーをお願いし、運転手さんの計らいで喜多方市営の「いいで荘」を手配、送ってもらった。そのまま美味しい料理とビールで打ち上げと相成った。翌日は早めにタクシーに迎えに来てもらい、山都から磐越西線でローカル線の旅を楽しみながら豊栄へと車回収に向かった。

まずまずの好天、そして例年にない積雪量に恵まれ、充実した山スキーができました。同行のお二人と共に楽しい思い出が作れたことに感謝、感謝です。

#### 【コースタイム】

5月1日 飯豊梅花皮荘 (8:55) - 西俣ノ峰 (11:45) - 頼母木小屋C1 (15:05)

5月2日 C1 (7:40) - 杵差岳 (9:30/10:00) - C1 (11:45/12:20) - 門内岳 (14:45)  
- 梅花皮小屋C2 (16:00)

5月3日 C2 (7:25) - 飯豊川洗濯沢出合 (8:45/9:15) - 大日岳 (15:50) - 御西小屋C3 (17:05)

5月4日 C3 (7:25) - 飯豊本山小屋 (8:55/9:50) - 御沢出合 (10:25/40) - 種蒔山 (12:10) - 三国岳 (13:10) - 地蔵岳の肩 (14:20/35) - 滑降終了点 (15:30/50)  
- 川入 (16:35)

【地形図】 1:25000 長者原、杵差岳、飯豊山、大日岳、川入

